

## 平成22年度離島漁業再生支援交付金による取組概要（大入島）

### 1. 集落協定の概要

都道県名：大分県

市町村名：佐伯市

協定締結集落名：大入島漁業集落

交付金額：8,840千円

協定参加世帯数：65世帯（うち漁業世帯65世帯）

### 2. 協定締結の経緯

漁業が基幹産業である大入島においては、漁船漁業や養殖業等様々な漁業種類が営まれている。しかしながら、近年、漁業者の減少や高齢化が進んでおり、このまま推移すれば島の漁業は一層衰退し、集落の担う多面的機能が失われていく懸念がある。

そこで、漁業の基盤となる漁場の保全や利用に関する話し合いを通じて集落機能を再編し、漁場の合理的な利用や新技術・漁法の導入等に取り組む環境を整えるとともに、漁場環境の保全活動を継続的に実施することで漁業の再生を図るため、離島漁業再生支援交付金による漁業再生活動に取り組むこととした。

### 3. 取組の内容

#### ①漁場の生産力の向上に関する取組状況

大入島周辺の区画漁業権漁場では、近年、水質や底質の悪化による漁場環境の悪化が懸念されている。そこで、底質改良剤の散布活動を実施することとした。

平成22年度は底質改良剤10,200kgを散布した。今後の水質および底質の改善が期待されている。

## ②集落の創意工夫を活かした新たな取組状況

大入島では、はえ縄漁等の漁法によるハモの漁獲が盛んで、夏場の貴重な収入源となっている。そこで、ハモの付加価値向上を図るため、流通改善や簡易加工に関する新たな取組について、集落会議で協議した。



(H22.11.13 集落会議)

## 4. 取組の成果

平成23年3月17日、大入島周辺の区画漁業権漁場の水質および底質の改善を図るため、底質改良剤「クリアウォーター」を10,200kg（510袋）散布した。



(県漁協佐伯支店における積み込み作業)



(漁業者が漁場に散布)